

# ○学校経営の大きな方針

○五常小教育計画 [教育計画 | 枚方市ホームページ \(city.hirakata.osaka.jp\)](http://city.hirakata.osaka.jp)

【スローガン】毎日楽しい学校

【めざす学校像】児童が感動し、児童の期待に応える学校

【学校の使命】児童が安心して楽しく通える安全な学校づくり  
児童の確かな学力の育成、学力の向上

【教育目標】(修正)

よく学び 思いやりのある**行動をする** たくましい子

【今年度重点目標】(継続)

自ら学び、自他を尊重し、仲間と高めあえる子の育成

- 1 安全安心な学校づくり
- 2 確かな学力の育成、学力の向上
- 3 児童の学びを支える学校・職場づくり

## 1 安全安心な学校づくり

- 人権尊重 自他の尊重 イジメ未然防止・組織的早期対応
- 不登校 登校再開だけではなく、幅広く「学力の保障」探る **居場所の確保**
- 事故ケガ病気災害等不測の事態へ備える
- コロナ不安への配慮(マスクなど) 可能なかぎりの学びの保障**

## 2 確かな学力の育成、学力の向上

- 国語・算数の基礎・基本習得を徹底し、**集中力を養成する**
- 個々の主体的な授業研究により**、主体的・対話的な深い学びを実現する
- 自律的な学び 個別最適化された学び 協働的な学び を追求する
- 民主主義を学び、自他を尊重する(行動をする) 児童を育てる**
- 英語4技能、**特に音声と発話力を強化する**
- 体力の向上を実現する **体育が好きな児童を育てる**

## 3 児童の学びを支える学校・職場づくり

### ●開かれた学校運営

→本校の問題・課題、情報を積極開示、発信する。

→さらにアクセス増を狙う。(R3は6万、R4は7万件のアクセス。目標;家庭数/日)

→保護者との対話を強化する。(ICTによる双方向コミュニケーション)

→重要事案の決定に対し、保護者・地域社会の理解、信頼、支援を獲得する。

●児童の学びを支える健康な職場づくり

- ①サービス規律の徹底
- ②ライフ・キャリアプランの尊重 時間を生み出す働き方改革  
→業務削減・改善 モチベーション UP
- ③安全衛生(時間と健康の管理)

●人材育成 私含む教職員が、共に学び、共に成長する風土づくり

その実現のために行うこと)

- ①折に触れ研修を実施
- ②重要なこと・やるべきことと、やらないことを峻別する(学校と家庭の責任と役割の明確化)
- ③ストレスチェック(全員参加)を指標にして対策する
- ④同僚性を高める工夫をする

※e.g.) 原則 ICT 化を方針にし、保護者、教職員の利便性向上をめざす

- ①→問い合わせの減少、伝達齟齬減少、クレームの減少  
→担任、学校の負担減を狙う
- ②→保護者、担任の時間確保  
→家庭・学校で、子どもに向き合う時間の増加を狙う

## OR5教育計画 重点課題の計測

●「重点課題の取り組みと成果の計測の原則」を徹底する(目的・目標あつての手段です)

※PDCA サイクルを回す(1年サイクルの場合の例)

- P 具体の取り組みを計画、各指標の設定
- D 取り組みを行う(C 中間で状況の測定→ D 必要に応じて取り組みの修正)
- C 年度末 成果の測定
- C 取り組みと成果の検証・最終総括
- A これらに基づき、来年度の取り組みへつなげる

【重点課題】(抜粋・再掲)とは以下のこと

(1) 基礎・基本の徹底(音読・百ます計算・漢字の反復学習=朝学習(オビタイム)を実施する。)

(主要重点課題)

・反復学習によって全児童の基礎・基本力と集中力を高めるとともに、主に学力低位層に対する「個別指導」を強化する。

・児童が見通しを持ち、主体的、自律的に学習を進めることを促すため、「五常小検定」を創設する。

(2) 主体的・対話的な深い学びの実現

・国語の校内研究の蓄積を生かし、『学習指導要領の求める資質・能力』を**教員全員で研鑽する**。

### (3) 外国語教育の強化 (Units of Sound の活用)

- ・中学とのギャップを最小にし4技能を高めるために、**発話力 (音声)**に着目する。
- ・**ICT を活用することで、児童が自律的に学べるようにする。**

### (4) 体力の向上

- ・正しい計測の意義を踏まえ、指導と練習を行った上で、全国体力テストを行う。
- ・体力テストの結果を踏まえ、体育の時間に**敏捷性と瞬発力を高める**トレーニングの時間を設ける。

「**体育が好き**」「**体育の授業が楽しい**」なる児童を育てる取り組みを実施する。

**好きになる児童を育てる取り組みと、敏捷性と瞬発力を高めるトレーニングの成果を測り、分析と検証を行う。**

参考)

## ○本校の教育目標・重点目標は、枚方市の教育目標にもとづいている

ー上位概念を浸透させることの大事さー 常に目標を見失うことなく、目標に向かうこと。

枚方市と本校の教育目標は、公立の組織である限り、教職員の意識に置かれ、必要な時、常に立ち戻るものである。具体の立案は、この大方針に基づいておこなわれるもの。

その立案には、ボトムアップと対話が重要である。

### 【枚方市の教育大綱前文】

『夢と志を持ち、可能性に挑戦する枚方のこどもの育成』

～子どもたちの未来への可能性を最大限に伸ばす枚方の教育～

誰ひとり取り残さず、枚方市立学校園で学ぶすべての子どもたちが社会の大海原で自立して生きて行くことができるよう、集団生活や職業の体験、地域社会との関わりなど、で生きていくための準備の場として様々な体験の場を提供し、生きる力を育み、未来への可能性をできる限り多く持たせたまま社会に送り出してあげることを枚方市の学校教育の使命とし、“枚方のこども”を育成する。

子どもを主語に言い換えると

どのような家庭環境にあっても、子どもが誰ひとり取り残されず、等しく素晴らしい教育を受けられ、他者と協働しながら力強く自分の未来を切り開いていく力を身につけること。